



木内 欽市 議員



新たな雇用の確保について

問 成田空港は第3滑走路があと4、5年で完成するが、

完成すると、世界有数の大きな成田空港が、もう1個できのと同じことになる。成田空港から30kmの距離にある本市にも、大きなメリットが生じると同時に、デメリットも生じる。多古、成田方面への道路の拡張、バイパスの整備も必要だと思うがいかがか。

答 空港に関連しての道路の拡張や新設は、現在のところ

計画はないが、成田方面へ向かう通勤時間帯の交通量が多いことは、認識している。県及び近隣市町で構成される広域道路の協議会の中で、渋滞箇所の解消・緩和を含め、調査・研究したい。

問 成田銚子連絡道等の名称で、期成同盟を立ち上げて運動

を起こしてもらいたい。そうすると、国・県は動くと言っている。ぜひ市長にリーダーシップを発揮してもらい、期成同盟をつくって

もらいたい。

答 各市町のそれぞれの課題や考え方を調査・研究、意見交換を行い、集約して、関係市

町の市長、町長合同による要望等へとつなげていければと考えている。これらの過程の中で、議員の言うような新たな組織が必要ということになれば、そういったことで進めたいと考えている。

都市間交流の促進について

問 浦安市と姉妹都市を結べば、浦安市には農地は一つもな

いので、子どもたちの田植え体験や農作業体験によい。また浦安市にはデイズニールランドがあるので、割引券をもらえたりすると非常によい。少し前向きに考えてもらえれば、夢も持てて、希望も持ててよいと思ひ、お尋ねする。

答 具体的で夢のあるご提言に感謝する。お互いの住民の福祉向上に寄与する可能性が見込まれれば、またそういった提携の構想が生じた際には検討したいと思う。

その他の質問事項

○市長の政治姿勢について
○近隣市町との連携・交流について

小・中学校の安全対策について

問 学校の不審者侵入防止策について現状と課題を伺う。

答 全校に防犯カメラを設置したほか、不審者対応マニュアルによる研修を行う等、危機管理意識の向上に努めている。

問 校門から職員室へまっすぐ行けるところが多いと思うが、不審者対応訓練はどういったことを行っているのか。

答 不審者が侵入した場合を想定し、教室等を施錠する訓練やバリエードを築く訓練、緊急通報装置による通報訓練等、児童・生徒の避難や職員の対応について、学校ごとに様々な訓練を実施している。

問 登下校時の安全確保について現状と課題を伺う。

答 学校では交通安全への意識を高めるため、日常的に交通安全指導を行っている。教育委員会では登下校時のパトロールの実施や地域の協力による子ども1

10番の家の設置等行っている。



問 通学路点検で危険な箇所があった場合、どのような対応をしているのか伺う。

答 指摘箇所の中には道幅が狭く、歩道やガードレールを設置できない等の理由により、改善に時間を要する場合もある。その場合は路面整備や電柱幕による注意喚起等の対応をしている。

イノシシによる被害防止対策について

問 住家への侵入等、生活被害の防止策について、裏庭に

出没したという話も聞かすが、そういった中で現状と課題を伺う。

答 ホームページや防災無線を活用し、イノシシを刺激しない、近づかないなどの遭遇した場合の対応等の情報発信により注意喚起を実施している。



片桐 文夫 議員

